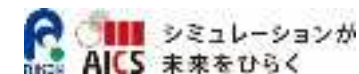


「京」開発による経済波及効果

資料1-2



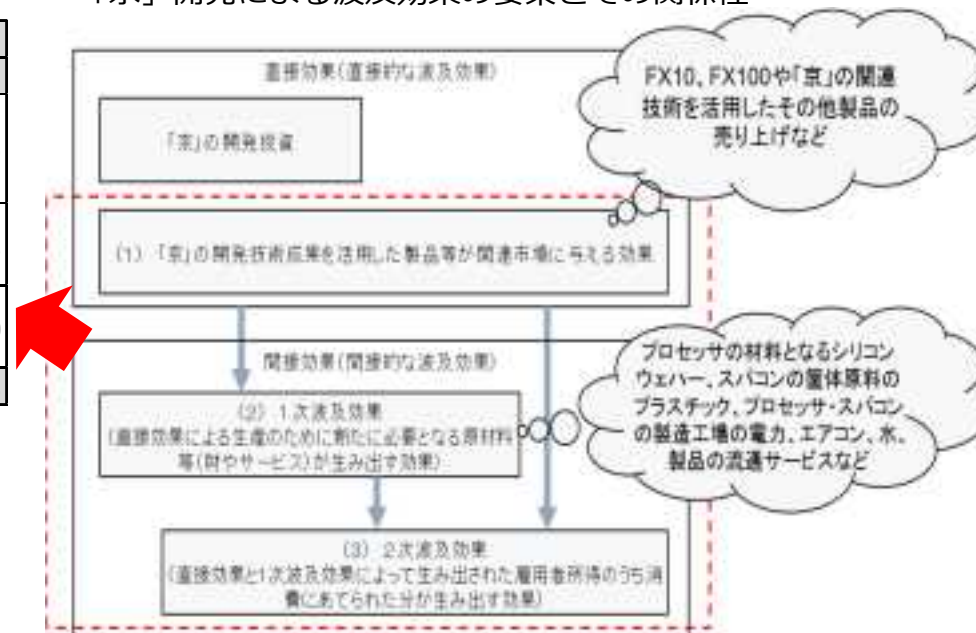
「京」の開発技術成果を活用した製品等が関連市場に与える直接的な波及効果は2,420億円、直接効果により他分野へ波及的に誘発される間接的な波及効果は3,691億円で、合計6,111億円が見込まれる。

波及効果の試算結果表（単位：億円）

経済効果区分		金額	
		2030年まで	2016年まで
(1)「京」の開発技術成果を活用した製品等が関連市場に与える効果		2,420	725
間接効果	(2)1次波及効果	2,374	1,278
	(3)2次波及効果	1,317	660
合計		6,111	2,663

- 「京」を利用した応用研究による経済波及効果は対象外
- 「京」の開発投資自体については、直接的な国の投資額のため本表には含まない
- 本調査は三菱総研により実施

「京」開発による波及効果の要素とその関係性



試算については富士通関係者へのヒアリング結果等に基づいて実施

- 「京」の開発技術成果を活用した製品等が関連市場に与える効果は、主にHPC市場、サーバ市場、クラウド・データセンター市場等を対象として試算
- 「京」の開発技術成果を活用した製品等が関連市場に与える効果は、関連市場の事業規模データに、富士通の各市場における事業シェア及び「京」で生み出された技術が各市場へ寄与している率（寄与率）を乗じて算出
- 間接的な波及効果は、産業連関分析により他分野への波及効果を算出
- 「京」開発による波及効果は、2030年まで続くと仮定して試算